

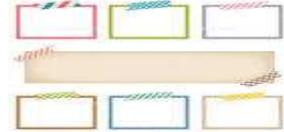


冬来たりなば春遠からじ・・・

だんだんと朝晩の寒さが身にしみるようになってきました。いよいよ今年も残り1か月です。これからますます寒さが厳しくなり、受験生にとってはまさに正念場を迎えます。これからは時間との勝負でもあります。1・2年生も日没に合わせて部活動が早く終わり、家での時間の使い方が大切になります。上手に時間を使って、これからのステップアップを図っていきましょう。寒い冬を乗り越えてこそ、春の花々は美しいのだと思います。お互いに励まし合って冬を乗り越えていきましょう。

『ふせん』の効果的な使い方

インターネットで勉強の仕方などを見ていると、『ふせん』の効果的な使い方を紹介した事例がいくつも出ています。そこで、今回はカラフルな色のついたふせんの使い方をご紹介します。



ふせんの使い方①授業内容などをまとめるためのノートに貼る。

授業で習ったことを自主学習ノートやまとめノートに書いていく際に、ポイントや暗記しなければならないことだけ、ふせん（いろいろな色がついているもの）に書いて貼る。
 ⇒そこだけ色がついて目を引き、印象に残りやすくなる。

ふせんの使い方②ふせんノートをつくる。（タイトル以外全部ふせんにまとめる。）

少し大きめのふせんに、重要事項の要点を整理しながらまとめる。
 ⇒ふせんの大きさにまとめようとすると、スペースに限りがあるため、よけいなことを書かずに要点だけをまとめられる。また、ふせんは張り直しができるので、後から書き足したい時に自由にレイアウトを変えることができる。

ふせんの使い方③できなかった問題にふせんを貼る。

問題集やワークシートなどの問題を解いた時に、できなかった問題にふせんを貼り、後でもう一度解く。できるようになったらふせんを外す。できない部分を可視化（見て分かるように）できる。

ふせんの使い方④暗記カードとして使う。

大きめのふせんに、覚えたことを問題形式にして書く。その裏面には答えを書く。そして、自分がよく目にするドアなどに貼る。（トイレのドアの内側など）
 ⇒家族も巻き込んで、ゲーム感覚で問題を解くことができる。3回連続で正解したふせんは剥がして、また新しい問題を貼る。剥がしたふせんもノートに貼るなどして、時々見直すのもよいかも？

ふせんの使い方⑤これからやることをふせんに書いて机に貼る。

これは備忘録がわりに、これからやることを1枚のふせんに1つずつ書き、終わったら剥がす。剥がしていく達成感があるかも？



出井先生

「受験を前に今やるべきこと」

レベルアップ学習・土曜学習サポートを担当して下さっている出井先生（数学科）からのアドバイスです。

- ・入試問題の傾向がわかるまで繰り返し過去問を解く。
- ・基本問題は、スピードと正確さを意識する。特にケアレスミス絶対しないことを心がける。
- ・応用問題は、つまづきの原因を究明し、問題を解くキーポイントを習得する。
- ・目標点数を設定し、戦略を練る。
- ・弱点となる単元の補強問題を徹底的に解く。
- ・最後は自分の力を信じる！

